

きらきら  
中野

2008年 8月号

家庭倫理の会は「よくする活動」を推進しています

今年度の基本方針は「連帯の輪を広げる」でした。  
20年度を振り返って三役・各委員会の委員長より感想を頂きました。

会長 栗山敏昭さん



・20年度は活動を充実する一年と考えておりました、皆様のお陰で、子供短歌、子育て、シルバー、おはよう倫理塾、しきなみ、秋津、サンプラザ学習会、やさしい倫理、広報、ホームページ、家庭倫理講演会、ゴミゼロの日、会員大会等内容的には誇れる活動になってきました。ありがとうございました。「やれば出来る」この事を多くの人の「喜び」に繋げることが次の課題になります。

推進長 清水新司さん



・今期は、中野区としてサンプラザ学習会をはじめ、子育てセミナー、子ども短歌コンクールなど、着実に実施できた。携わった委員の皆様のご活躍の賜物であった。よかったです。一方、富士研受講や講演会では、推進長として工夫や呼びかけが足りず、皆さんの熱意を引き出せなかった。ご賛同の実践では、全員の一步が出来なかったと反省、来期は皆さんとやります。

事務長 村田守さん



・今年度初めて事務長を拝受致しまして、全体的に中野区の流れは良いと感じました。又、副事務長の清水みよ子さんのご苦勞が忍ばれました。今後は会員の皆様と仲良く楽しく、そして健康に留意して普及活動に取り組んで行きたいと思っております。

おはよう倫理塾委員長



白川智久さん・合同「おはよう倫理塾」の企画は柳井北会場チーフのお知り合いの生涯局講師で予定表も柳井さんと宇田川さんが作成してくれていました。今までの生涯局講師はどなたも良かったと思いますが先月の土木正美講師の講話が一番印象的でした。あの小柄な女性が大苦難を乗り越えているのだから、男の私も明るく前向きに、南会場の短歌をなご一層、多くの会員にPR致します。

子育て支援委員長



池田八重子さん・4回の区共催「子育てセミナー」を終えて良かったと思う事は、先ず区報へ掲載された事、これにより若い方の参加が増え、全員がアンケートに回答を寄せてくれ、若い方が求めている事が分り、又誘って欲しいとの言葉には勇気付けられた。委員全員が心を合わせて取り組んだお陰と感謝しています。来年度の更なる飛躍を期待しています。

来年度は内倉あゆ子さんへ



シルバー委員長



町田のぶさん・生涯学習「遊和のつどい」を毎月、さわやかセミナーを隔月開催。いきいき元気の老後の人生のために、又おはよう倫理塾に通えない会員さんに一人でも多くお話を聞いて頂けるよう、又新しい方にこの勉強を知って頂きたいと願って行なっています。毎月出席するのを楽しみに、前向きの気持ちで生活し実践して体験を出されている方もいます。

地域交流委員長



飯田孝雄さん・後わずかで、21年度になりますが新年度も「しきなみ子ども短歌コンクール」を引き続き軌道に乗せるため、行政の方々へPRをしていきます。その結果思いもよらない方々の応援によりお陰様で昨年の6校の倍近い小学校が参加してくれる事になりました。結果は分かりませんが、ジャンプの年である来年度に向けて手応えがあったようです。関係各位におかれましてはご協力大変ありがとうございました。

文化活動委員長



嘉山登美江さん・しきなみ子ども短歌コンクールに応募する事になり、6校の小学校から149首の応募がありました。全国からは7万名11万首近く集まりました。その中から桃二小学校の堂前さんが優秀賞に選ばれました。「友達とケンカした後さびしくてごめんなさいの練習してる」文化展では秋津書道、しきなみ短歌を夢通りギャラリーに展示しました。

自分をよくする 家庭をよくする 地域をよくする 日本をよくする 地球をよくする 活動を推進しています

純粋倫理学習会 全5回シリーズ終了

- 1、「教育の根幹」-魂の教育(19.11.3 鳥越等研究員)
- 2、「墓参の意義」-(19.12.9 森田正廣研究員)
- 3、「信仰心を高める」-(20.4.13 高松祐子生涯局専任講師)
- 4、「元点に戻る」-(20.6.8 松枝秀雄研究員)
- 5、「自然現象に対する心構え」・天候気候の倫理  
(20.7.6 松枝秀雄研究員)



全5回受講修了者に松枝秀雄研究員より修了証書が手渡された。該当者14名



しきなみ短歌・サンプラザ7階



「いいお歌ですね！」と褒め上手の大橋よし子短歌講師  
 高点歌 **大切に妻が育てたバラー輪舞の遺影にそっと手向ける**  
 栗山敏昭会長



問い合わせ先：嘉山  
03-3330-7962

秋津書道・鍋横地域センター 菅野文字子講師

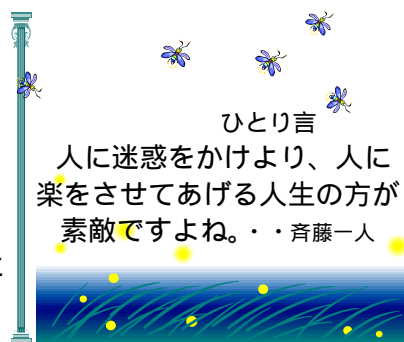


立谷敦子さんの作品  
 競書に載るってことは大したことなんだよ、と飯田孝雄さん

合同おはよう倫理塾 8月4日(月)

体験スピーチ 熊谷英男前支所長

テーマ「生かされている喜び」 S53年入会、66歳、88歳の母、妻、次男の4人家族  
 20年4月27日たけのご狩りより帰宅、家に着くなり意識がなくなり救急車にて目白病院へ  
 搬送され、直ちに手術、病名は硬膜下出血、十日間の入院を余儀なくされたが15日目には  
 後遺症もなく現場に復帰。今まで健康を過信していた事、今回の事で職場、親戚、家族  
 にどれだけ心配をかけたかを病院のベッドで反省、「生かされた人生」を無駄にはしてい  
 ないと決意、「ハイ」の実践に磨きをかけ、働ける喜びを味わいながら、人を喜ばせる働  
 きに徹し、与えられた人生を演じきって行こうと決意していると話された。(13名)



8月9日(土) 18:00~20:00	慰労会・鳥越等研究員送別会 チラシ参照
10日(日) 5:30~6:30	合同おはよう倫理塾 鳥越等研究員(来年度は九州・沖縄担当です)
10日(日)と30日(土) 13:30~	秋津書道 鍋横地域センター
9月2日~4日	「公益法人見本市」に参加・中野区役所1階ホール
9月21日(日) 9:30~11:45	21年度出発式 中野サンプラザ 7階研修室8 松枝秀雄

捨てる生活・清き耳 P209より

すべての不幸はわがまま勝手からくる。「わがままを捨てる」これがただ一つの正しい生活であり、他には無い  
 幸福になる道である。おおよそ人間の住むところ、どこを見ても、いつ見ても、「得よう」「儲けよう」「人より上に・・・」  
 と、我がためを思い、これをもととした暮らしが、満ちている。怒り・恐れ・うれい・急ぎ・もだえ・ねたみ・はずかしがり  
 など、おおよそ人の感情生活は、この「得たい」(失いたくない)心に根ざしていないものはない。喜び・うれしみ・楽し  
 み、これは得たことから出てくる心。得ては喜び、失っては悲しみ、よろこびと悲しみと悲喜こもごも至る・・・それが  
 人生だ、といえどもことに詩的に聞こえるが、乱れきった悲しみにみちみちた暗黒の人生、それが人間が地上に生  
 まれて以来、年々はげしくなっていって、どうなるであろう、「世は末世になりけり」というふうな。ここに喜びと悲  
 しみをさっと超えて、いつも楽しい、いつも嬉しい常楽歓喜の世界が目の前に今、この地上に現れてきた。それは、  
 倫理実践の世界である。倫理の世界は、これを学的に展開すると「倫理大系」となり、実践の目標として標語に表せ  
 ば「万人幸福の菜」17ヶ条となり、これを一つにまとめて日々の実行にひきさげると、「捨てる生活」となる。